

## 電気生理学実験系の立ち上げに向けて

物理学専攻 博士課程二年 高木俊輔

修士課程において最初に与えられたミッションである電気生理学実験系の立ち上げのため、そのノウハウを教えていただくべく理化学研究所の風間北斗先生に協力をお願いし、2011年10月から2013年12月にかけて合計で一か月程度訪問した。まず、必要な機材のピックアップやセットアップについてアドバイスをいただき、当研究室で電気生理学の実験ができる状態にした。その後、電気生理学の技術、具体的にはパッチクランプの技術を取得することを目指した。風間研究室において風間先生に見本を示していただき、続いて風間先生のアドバイスを受けながら実際に自分で行うという作業を繰り返し、パッチクランプの技術を身に着けた。さらに、パッチクランプに使用する、ガラス電極や、バッファの作製などを教えていただき、それらの知識、技術を研究室に持ち帰り、自力でパッチクランプを行うことができるようになった。それまで、研究室になかった実験系を一から立ち上げるという作業は大変なことも多かったが、非常に貴重な経験となった。惜しめない協力をしていただいた風間先生に深く感謝いたします。